



藍原 章 議員

9価HPV子宮頸がんワクチンの定期接種化について

問 9価HPVワクチンの効果は

答 従来のワクチンに比べ多くの遺伝子型への効果が期待できます

9種類の遺伝子型への有効成分を含んでおり、従来の2価および4価HPVワクチンに比べ多くの遺伝子型への効果が期待できます。また、安全性とリスクは、従来のワクチンと変わらないと報告されています。

問 HPVワクチンの効果はどのくらい持続するのか。

答 健康福祉部長

ワクチンの効果は、子宮頸がんの原因の約50%〜70%を防ぐと言われており、感染予防効果を示す抗体は、少なくとも12年は維持される可能性があることがこれまでの研究でわかっています。

問 HPVワクチンの積極的勧奨の再開に伴う、定期接種対象者やキャッチアップ対象者への周知についてはどうか。

答 健康福祉部長

接種後の副反応とワクチンとの因果関係など、HPVワクチンの安全性に特段の懸念は見られず、令和4年度から積極的接種が再開されることになりました。市でも、今年度からHPVワクチンの積極的な接種勧奨を再開し、定期接種対象者859人、接種を差し控えておられたキャッチアップ接種対象者1,456

人に対して、案内通知と国から出されているリーフレットを送付しています。また、医療機関とも連携し、啓発ポスターの掲示により周知に努めています。

問 HPVワクチンの今年度と前年度の接種率についてはどうか。

答 健康福祉部長

定期接種の対象は小学6年生から高校1年生相当になる女子で、接種回数3回のうち1回でも接種した人は、8月末時点で15.4%と、前年度

問 9価HPVワクチンの効果や安全性とリスクについてはどうか。

答 健康福祉部長

9価HPVワクチンは、子宮頸がんの発生に関連するヒトパピローマウイルスのうち



その他の質問

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援について